日本キリスト教団 東金教会〔５２〕

2019年12月29日 降誕前第２主日礼拝

年度目標 《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句 キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って… コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	田村井本屋
奏楽	藤中津藤土
付内	久
受係	
案	王
名札	
礼拝	三 枝
感謝祈祷	〃 〃

前奏		中村
讃美歌	408	一同
使徒信条	566	〃
交読文	32	司・会衆
主の祈り	564	一同
聖書朗読		藤田
ガラテヤ書５：１～６		
祈祷		藤田
新聖歌	176	一同
み言葉の伝え		中村
〈キリストにある自由〉		
讃美歌	532	一同
献金		
礼拝感謝		王
〃 〃		三枝
報告		藤田
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)		中村
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　（休会）
早天祈祷会　月～金7時(除祭日)メーヤー館
除夜祈祷会　12月３１日午後１１時４５分
聖書輪読会　１月５日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　１月５日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は歳末礼拝をお守りしました。
☆１２月24日持たれましたクリスマス燭火礼拝は東金混声合唱団協賛の下111名余りの方々と守ることを得ました。感謝して報告いたします。
☆１２月３１日(火)午後１１時４５分より除夜祈祷会が待たれます。皆さまご出席下さい。
☆クリスマスカード…掲示板
☆牧師冬期休暇により2020年１/１、１/８の祈祷会は休会とさせて戴きます。
☆12月28日～2020年1月3日の幼・保園は完全休園となります。

【臨時総会公告】

議題…朴牧師辞任の件
日時…2020.1.26礼拝後　場所…礼拝堂

【12月29日～1月4日誕生者】

○足立　兄　○足立　姉　○寺内　姉
○永井　兄　○阿波谷　姉　○藤本　姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【次週(１月５日)聖餐式当番者】

配餐者…武田・土屋
祈祷者…藤田・岡村

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(12/22	16	43	59
聖研祈祷会(12/25)			
聖書輪読会(12/22)			
教会学校(12/22)	6	18	24
燭火礼拝(12/24)	37	74	111

早天祈祷会			
日	男	女	計
12/23	1	1	2
12/24	1	1	2
12/25	1	2	3
12/26	1	1	2
12/27	1	1	2

主日礼拝献金(１２/２２)……３９,７４４円
教会学校献金(１２/２２)……９,５３０円

【今日のメッセージ】

題　〈キリストにある自由〉
聖　書　**ガラテヤ書**5:1～6
1・
2・
3・

【次週(1月５日)礼拝式案内】

み言葉の伝え〈教会の使命〉
聖　書イザヤ書４０：９
交読文6
讃美歌４１１番　２７４番　５３３番
新聖歌２１９番

【次週(１月５日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え …	中村
司式者 …	岡本
奏楽者 …	中田
受付者 …	澤上
案内者 …	梅立
名札当番 …	井内
礼拝感謝祈祷 …	足立
〃 〃 …	寺諭
csお話し …	足林
会堂清掃者 …	幼稚園教
〃 〃 …	
花係 …	小本
看板書き …	澤

【聖書から】

「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。」　ヨハネの手紙一　四章九節

アドベントの四週間、すでに聖書を通して主のご降誕の出来事、十字架の死と復活、そして昇天、すべてを知っている私たちは喜びと感謝をもってアドベントを過ごした。ところが、二千年前の人達がメシアを待つときの心境は希望ばかりでなく、不安と失望、疑いが心に陰を作っていた。闇のような状況それに支配されながらメシアを長年待っていた彼らは野宿をしながら羊の番をする羊飼いの姿に重なるものでした。ユダヤで羊飼いをする人は小さい子どもか職を選ぶことの出来ない貧しい人たちだと言います。その理由は、「けがれ」を忌み嫌っていたユダヤ人にとって羊飼いは「けがれた存在」であったからでした。転々と野原を移り住む彼らは、動物の死骸や怪我、清くない動物に近づくなどけがれの元となるものに囲まれていた。そして、その都度清めの儀式をキチンと行うことも出来ないので、羊飼いは自体が「けがれ」の元として人々に避けられるようになり、神殿に近づくに相応しくないとされるようになりました。又、彼らは、ルカ福音書に記されているように皇帝アウグストゥスから人口調査からも締め出された者，いわゆる賤民とされていたのです。そのような彼らが最初のキリストのご降誕の礼拝者となったこと、彼らを厭わず、御前に招いて下さったことは主のご降誕とご生涯を通して示された主の愛と恵みの象徴のように見える。その主故に私達を招き、間に留まり、交わりと保護してくださるのです。きょうの冒頭の言葉は洗礼者ヨハネが弟子たちに託して尋ねさせた問いに対する主イエスの答えの結びである。問いは主イエスへの疑惑であり、答えは主イエスが自分は誰かを告げている。その自己証言は疑惑を解消するものではなく、信仰へと招くものである。ヨハネは躓きかけていた。主イエスの言動が、メシアの先駆者としての証言した内容とは合致せず、審判者でなく卑賤に留まり、社会から排除された人々に寄り添い「福音」を告げ知らせておられたからである。　福音の喜びは躓きの向こうにある。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。